

県外派遣報告書

審判員名	駒村 匡昭	所属	高体連
大会名	平成28年度 関東男性審判講習会		
期間	平成28年7月9日(土)～10日(日)		
会場	順天堂大学さくらキャンパス		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
7月 9日(土)	開講式、ルールテスト、フィットネステスト	順天堂大学さくらキャンパス	
7月10日(日)	実技、閉講式	順天堂大学さくらキャンパス	
開講式 閉講式			
<p>《開講式》</p> <p>千葉県バスケットボール協会専務理事 大野健男氏 こういった緊張感の中で審判をすることは、ステップアップすればより増えてくる。自分自身に責任をもってひとつひとつの現象について判定してください。全員がステップアップできることを願っています。</p> <p>関東バスケットボール協会審判審査委員長 小林哲夫氏 指導者は選手に「練習でやったことしか試合では出ない。試合でどのように力を発揮するかが大切」と指導する。審判も同じで、取り組んできたこと以外はオンザコートではでない。これまで積み重ねてきたものをオンザコートで自信をもって示していただきたい。</p> <p>関東バスケットボール協会審判委員長 渡邊整氏 みなさんは各県での競争を経てこの場におり、全員にチャンスがあります。普段の力、今までやってきたことを素直に出してください。</p> <p>《閉講式》</p> <p>関東バスケットボール協会審判審査委員長 小林哲夫氏 次のステップに進む方は、もう一度自分を振り返ってみてほしい。今回残れなかった方は、来年こそはという強い気持ちで日々の努力を続けてほしい。</p> <p>関東バスケットボール協会審判委員長 渡邊整氏 みなさんの姿を県内の方々が見ています。基本的なことを再度見直してください。この2日間を振り返り次の場に活かしてください。結果に関わらず、それぞれが次のステージに向かうことが大切である。</p> <p>ステップアップへの強い気持ちをより持ってほしい。皆さんが県内、関東のリーダーとなっていくことを期待しています。この講習会は通過点である。A級を取りに来てください。</p>			
実技			
担当試合	期 日	7月10日(日)	
	対戦カード	東京成徳大学D VS 江戸川大学B	男子
	相手審判	飯塚貴行(神奈川)	
ミーティング内容		講師	久保 知仁氏(千葉県)
<p>今後にむけての改善点や取り組んでもらいたいこととして、以下のようなアドバイスを頂いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレールでプレーを見ている時に、次に起こることへの準備がまだ不足している。試合の流れや状況に応じて視野のとり方も変わってくる。 ・リードでセットアップポジションにステイしている状態から、見るべきプレーを良い距離と良い角度で見るために動く。体の向きと視野だけでなく自分の足で距離と角度を求めてほしい。 			
全体の感想			
<p>今回初めて関東講習に参加させていただきました。</p> <p>結果は一次審査を通過することはできませんでした。経験の場ではなくステップアップの場という認識で臨みましたが、まだまだ審判として不足している部分があると自覚しました。ミーティングの中で無意識に行っている行動(悪いくせ)についても指摘していただき、改めてコートに立ち審判をする以上、見られているという意識を強く持たなければならないと感じました。これからの審判活動に多くの改善点を見つけることができましたので、今後も毎試合ひとつひとつの判断、判定と向き合っていきたいと思えます。</p> <p>最後になりましたが、開催県の千葉県の皆様には2日間大変お世話になりました。受講生として集中して臨むことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。また、今回推薦をしてくださいました埼玉県協会の皆様にも改めてお礼を申し上げます。たくさんのご支援を頂きコートに立つことができましたことを感謝致します。今後も県内の行事に精一杯取り組んでいきたいと思えます。</p>			